

# 野村 もえ さん

小学校教育課程 国語教育コース  
大阪市（中学校国語教諭）内定  
大阪府立市岡高等学校出身



## ■ 学校種を目指したきっかけ

小学校3年生の頃から教師になることが夢でした。当時は「とりあえず教師になれたらいいな」と漠然と思っていましたが、多感な時期の子どもたちと接する中で、「子どもと一緒に成長したい」「子どもたちの支えになりたい」という思いが強くなり、教師を目指すようになりました。

## ■ 大学での学び・教育実習での経験

私は小学校と高校の教育実習に行きました。実習中は、毎日がとても大変で、つらいと感じることも多かったです。教材研究や授業準備、実習日誌など、どれだけ時間をかけても終わらないほどやるてことがありました。

それでも、小学校では「先生がいるから毎日楽しかった!」、高校では「先生のおかげで言語文化の成績が上がった!」といった言葉をかけてもらえました。実習が終わったあとにこうした言葉を聞かたびに、「つらかったけれど、最後まで頑張って良かった」と心から思いました。

子どもたちの言葉は、私にとって大きな励ましであり、支えになったと感じています。

## ■ 採用試験でのアピールポイント

自己PRでは、柔軟性や傾聴力について触れましたが、やはり国語の教員を目指す以上、「国語への思い」をしっかり伝えることが大切だと感じました。

私は、「言葉を通して心を育て、多様な表現を大切にしたい」という気持ちを、自分の言葉でしっかりと伝えるようにしました。

また、面接では、どんな態度を取られても笑顔を忘れないことを意識しました。緊張していても、笑顔でいることで自分らしさを出せると思い、何より笑顔は相手にも良い印象を届けてくれると感じています。笑顔は、やっぱり一番大事だと思います!

## ■ 教職センターでのサポート

教職センターには、ほとんど毎日のように通っていました。どの先生方も親身になって相談に乗ってくださり、たくさんのアドバイスをいただきました。時には厳しい言葉をいただくこともありましたが、良いところはしっかり褒めてくださるので、自分の強みや改善すべき点がよく分かり、とても助けられました。

面接練習では、先生方が遅くまで一緒に付き合ってください、最後まで本当に心強かったです。面接以外にも国語の専門講座などを開いていただけたことで、一人で勉強するだけでなく、仲間と一緒に問題に取り組む時間ができ、そのおかげで理解がより深まったと感じています。

## ■ 目指す教師像

私は、いつも笑顔を大切にし、どんな時でも子どもたちと一緒に学び続け、成長していける先生になりたいと思っています。そして、国語に対して「苦手」「難しい」ではなく、「おもしろい!」「楽しい!」と思ってもらえるように、これからも努力していきます。

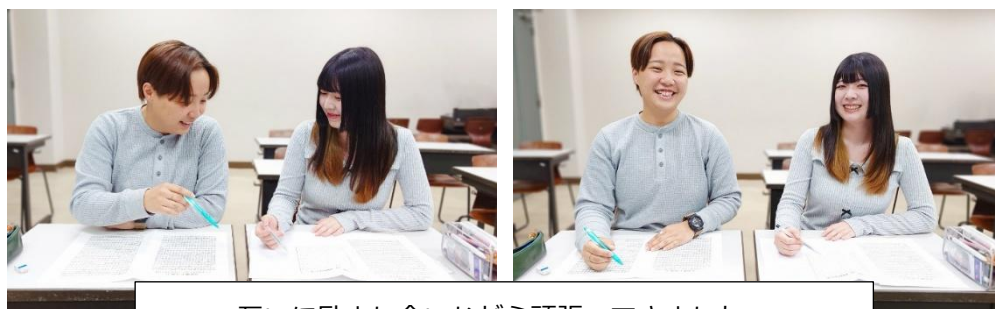
## ■ 後輩へのメッセージ

私が教員採用試験に向けて特に大切だと感じたことは、2つあります。

1つ目は、仲間の存在です。私は毎日のように学校へ来て勉強していましたが、「ここまで頑張れたのは仲間がいたからだな」と強く思いました。同じ夢を目指す仲間がいるからこそ、自分も踏ん張れるし、しんどい時も励まし合いながら成長することができました。仲間の存在が、私の夢を後押ししてくれたと思います。

2つ目は、メリハリをつけることです。勉強するときは集中する、休むときはしっかり休む。この切り替えが本当に大事だと感じました。友達と一緒に勉強していると、疲れた時にはついふざけてしまうこともありましたが（笑）、やると決めた時はしっかり取り組むことを意識していました。そして、自分に小さなご褒美をあげることも大事だと思います。

毎日勉強ばかりでしんどくなったり、面接でたくさんのことを言われて「もう訳が分からない!」と思うこともあるかもしれませんが、それでも、最後に自分を支えてくれるのは、自分自身です。試験でも面接でも、どうか笑顔を忘れずに、自分が納得できる毎日を過ごしてほしいと思います。



互いに励まし合いながら頑張ってきました。  
これからも切磋琢磨し、成長していきたいと思ひます!